

Shigenari Design Works

Technical Aids for children and adults



1979~2024

作品展によせて

しげなり たけし

1979年に大学院を修了し、故郷の北九州市に開設された総合療育センターでリハビリテーション工学技士としてのキャリアをスタートしました。そこで素晴らしい上司と同僚に恵まれ、様々な障害のある子どもとその家族に向かい合って、一人ひとりに必要と考えられるものをデザインしてきました。障害のある人が生活する上で必要となる道具を「テクノエイド（technical aid：福祉用具）」と呼びます。療育センターにはリハビリ工房があり、考案したテクノエイドを試作することができました。市内には義肢装具や車椅子のメーカーがあり、毎週2～3回はセンターの整形外科や企業の工場で、製作中のテクノエイドを技術者と打ち合わせながら完成させていきました。

2001年から大学に移籍し、教育と研究を進める中で、学生と制作できる素材として活用したのが強化段ボールです。この素材を使って障害のある子どもを対象とした姿勢保持具や遊具を製作し、一部は製品化することもできました。また2011年の東日本大震災から被災地の避難所や仮設住宅の生活環境を改善する家具を強化段ボールで製作し、企業の協力を得て被災地支援として多くの家具を提供してきました。

この45年間は「本当に必要なものは何か？」を常に問いかけながら、障害のある人や家族の生活が楽しくなるような「もの」や「こと」をデザインし、提供してきたつもりです。今回の作品展はその一部を展示することで、テクノエイドのデザインを観て、触って、楽しんでいただければ望外の幸せです。

BIOGRAPHY

繁成 剛 Takeshi Shigenari

- * 1954年10月18日 福岡県北九州市生まれ
- * 1970年～1973年 福岡県立小倉高校 体操部主将
- * 1973年～1977年 九州芸術工科大学 工業設計学科 アーチェリー部主将
- * 1977年～1979年 九州芸術工科大学 芸術工学研究科 生活環境専攻
- * 1979年～1999年 北九州市立総合療育センター リハ工学技士 野球部主将
- * 1987年4月～7月 アメリカとカナダでリハビリテーション工学の研修
- * 1995年10月21日 スtockホルムでIKEA財団からIKEA award を受賞
- * 1999年～2001年 北九州市テクノエイドセンター リハ工学技士
- * 2001年～2007年 近畿福祉大学 社会福祉学部 福祉産業学科 教授
- * 2003年～2006年 川崎医療福祉大学 医療情報学専攻修了 博士（医療情報学）
- * 2007年～2020年 東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 教授
- * 2011年10月22日 日本義肢装具学会から飯田賞本賞を受賞
- * 2020年～2025年 長野大学 社会福祉学部 教授



 *Special thanks* 



Takeshi Shigenari